

某工場 PR館

物流の単位としてのコンテナ。

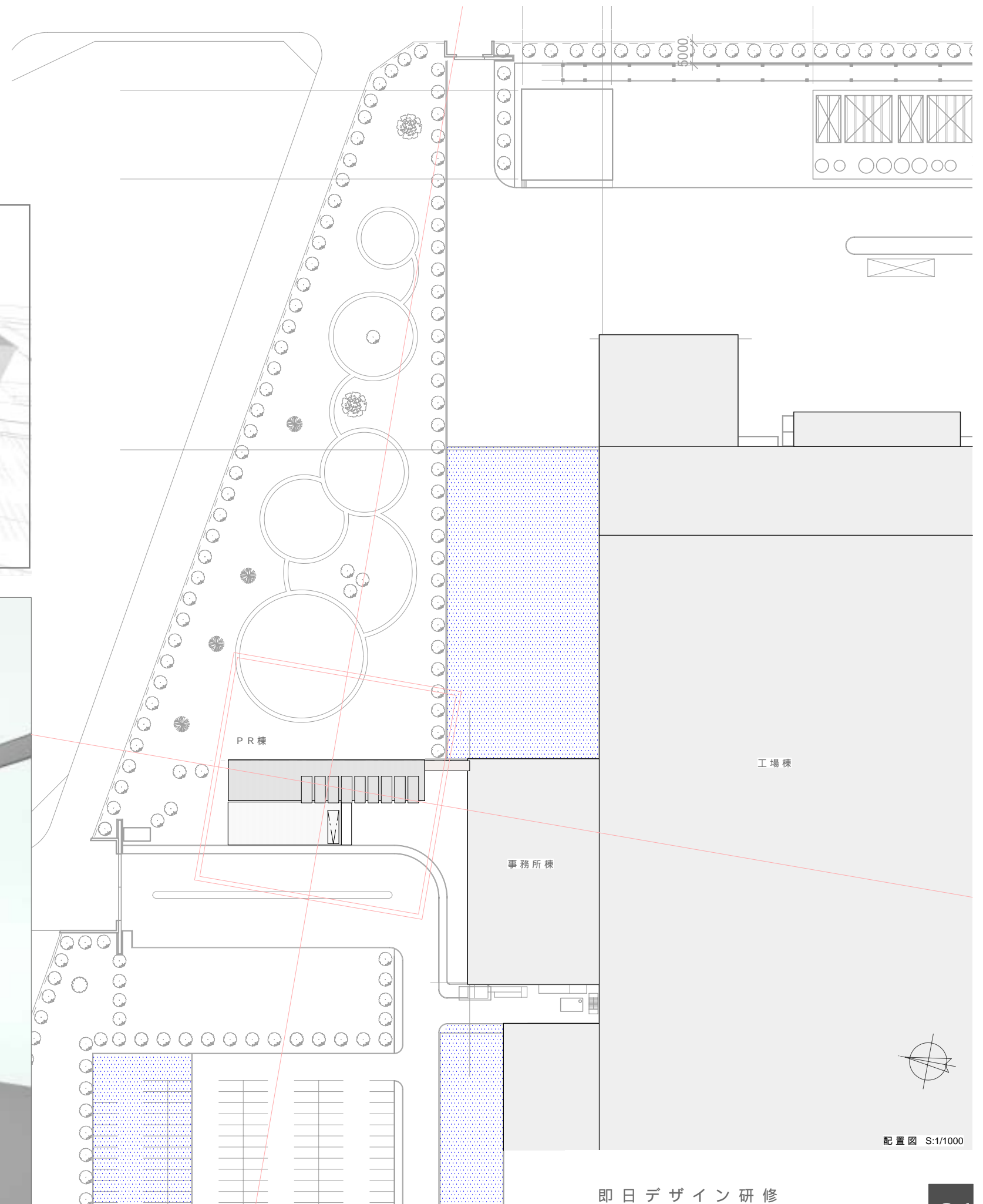
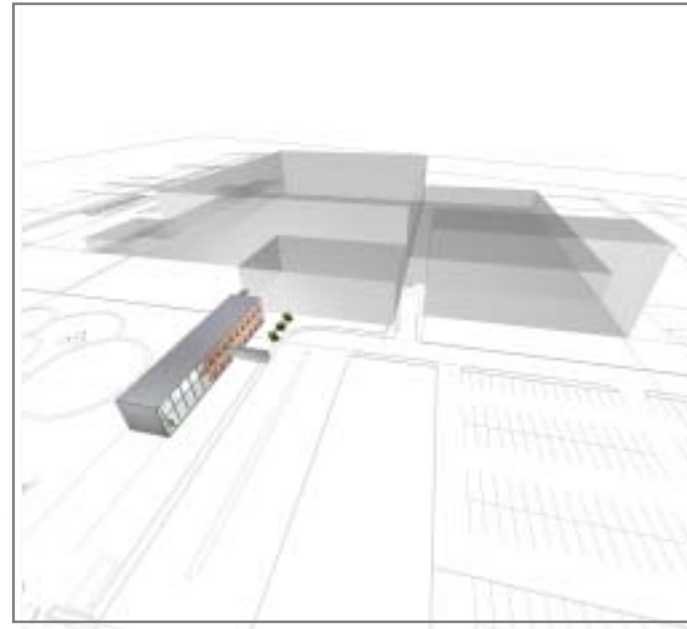
コンテナによって運び込まれた材料から製品が生まれ、それらの製品はまたコンテナによって運び出されていく。

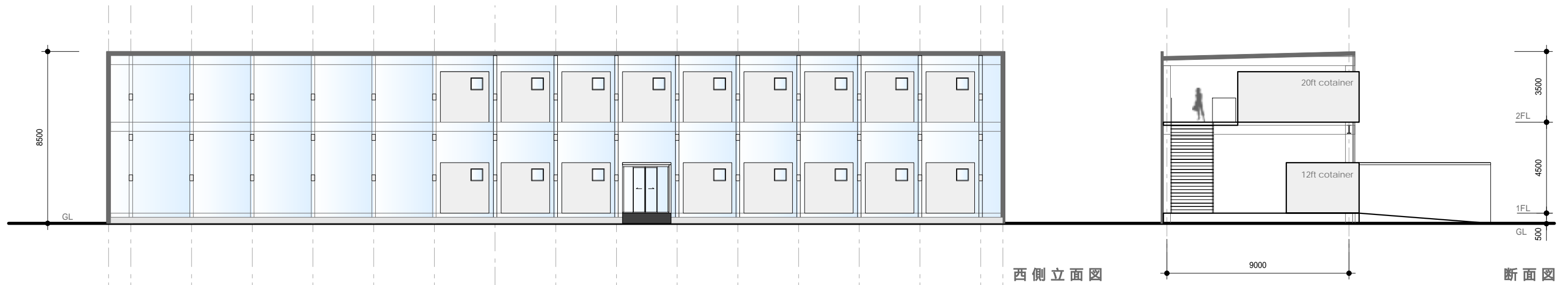
本計画では

コンテナを明快な量塊として建築内に取り込むことで、コンテナを単位として流れる工場のシステムを建築そのものが具現化することを試んでいます。

透明な建築に差し込まれたコンテナのボリュームは展示ブースとして機能します。

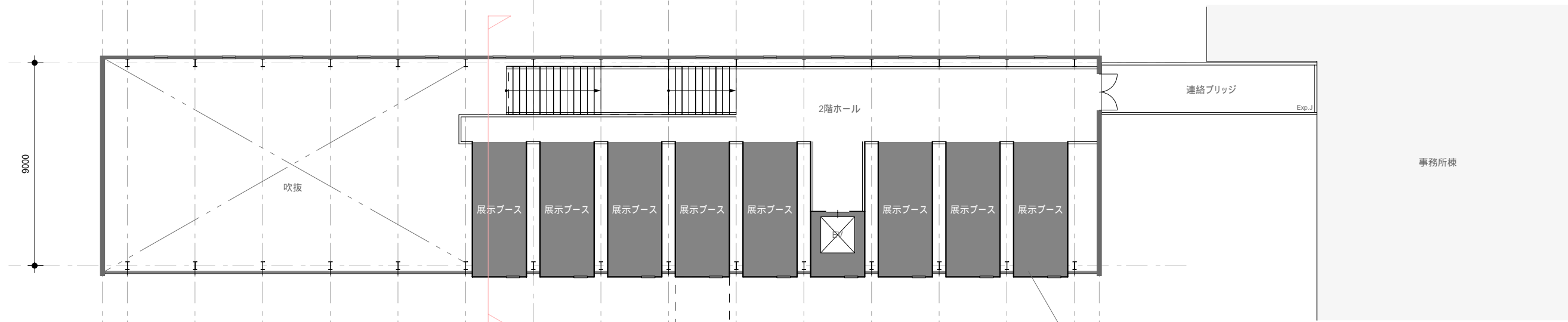
パッケージされた製品の中身に期待をかきたてられるように、不透明なコンテナもまた来訪者の好奇心をかきたて、施設のPR効果の一役を担う装置となります。



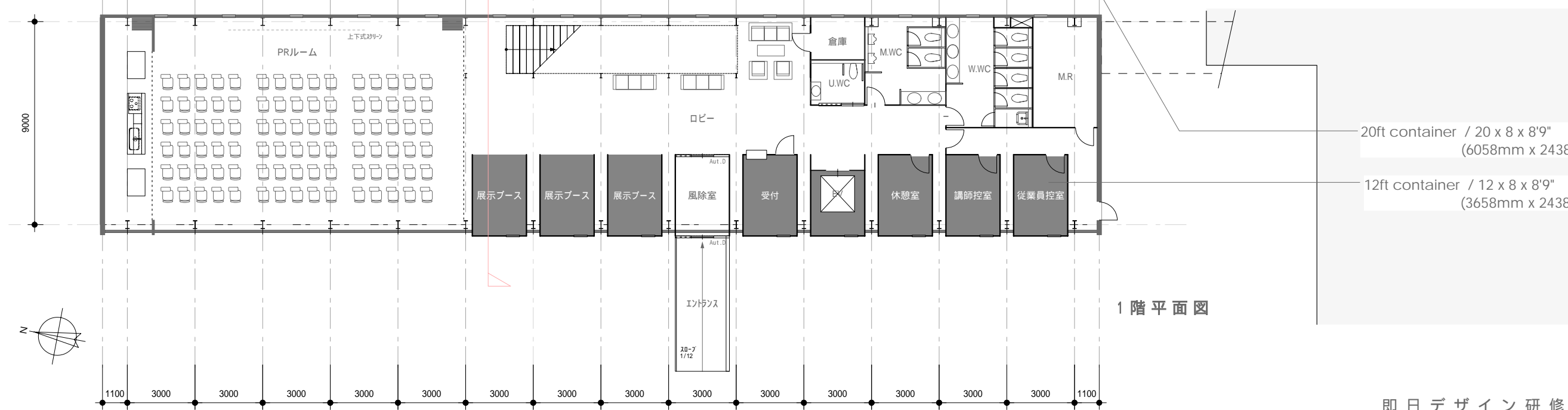


西側立面図

断面図



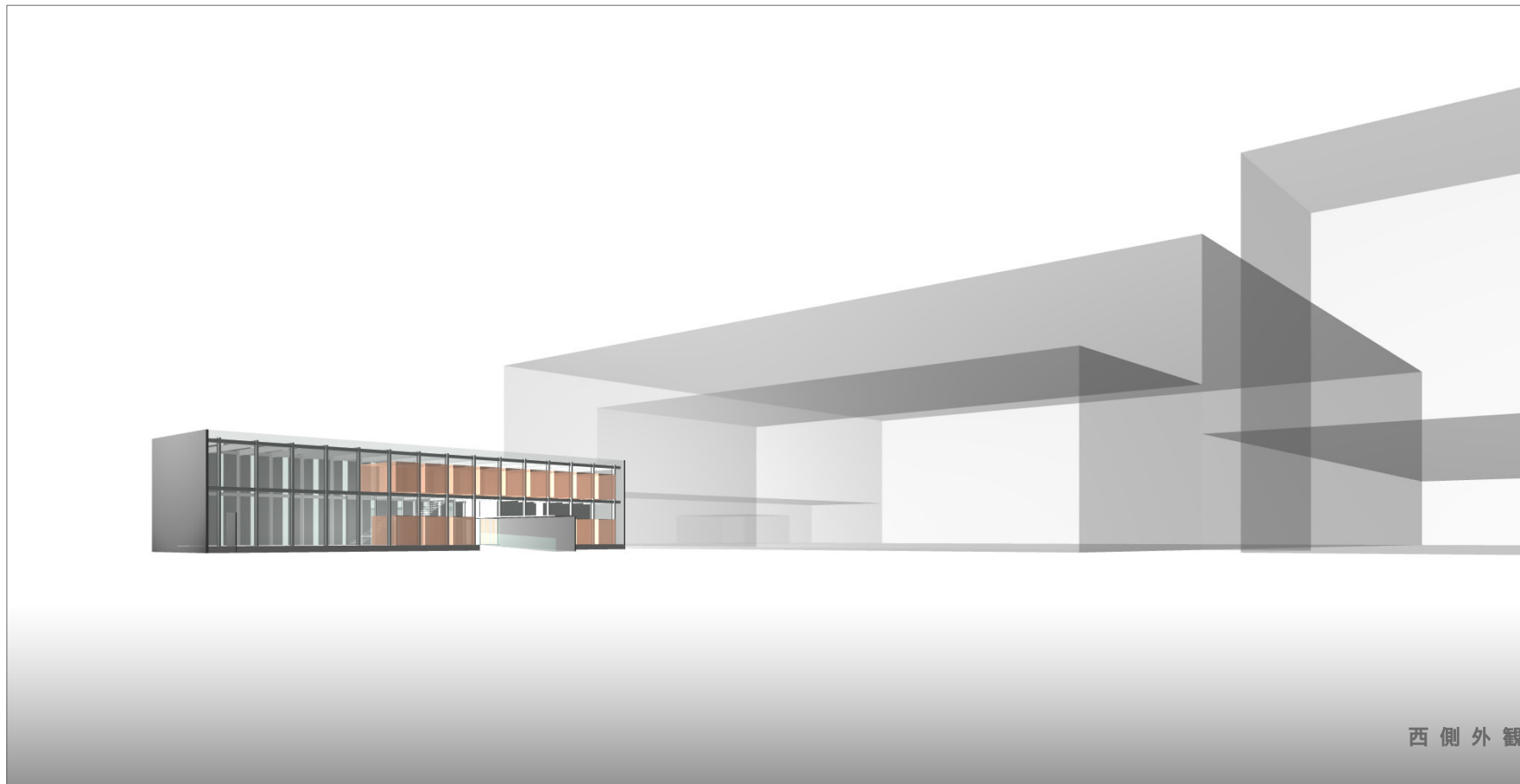
2階平面図



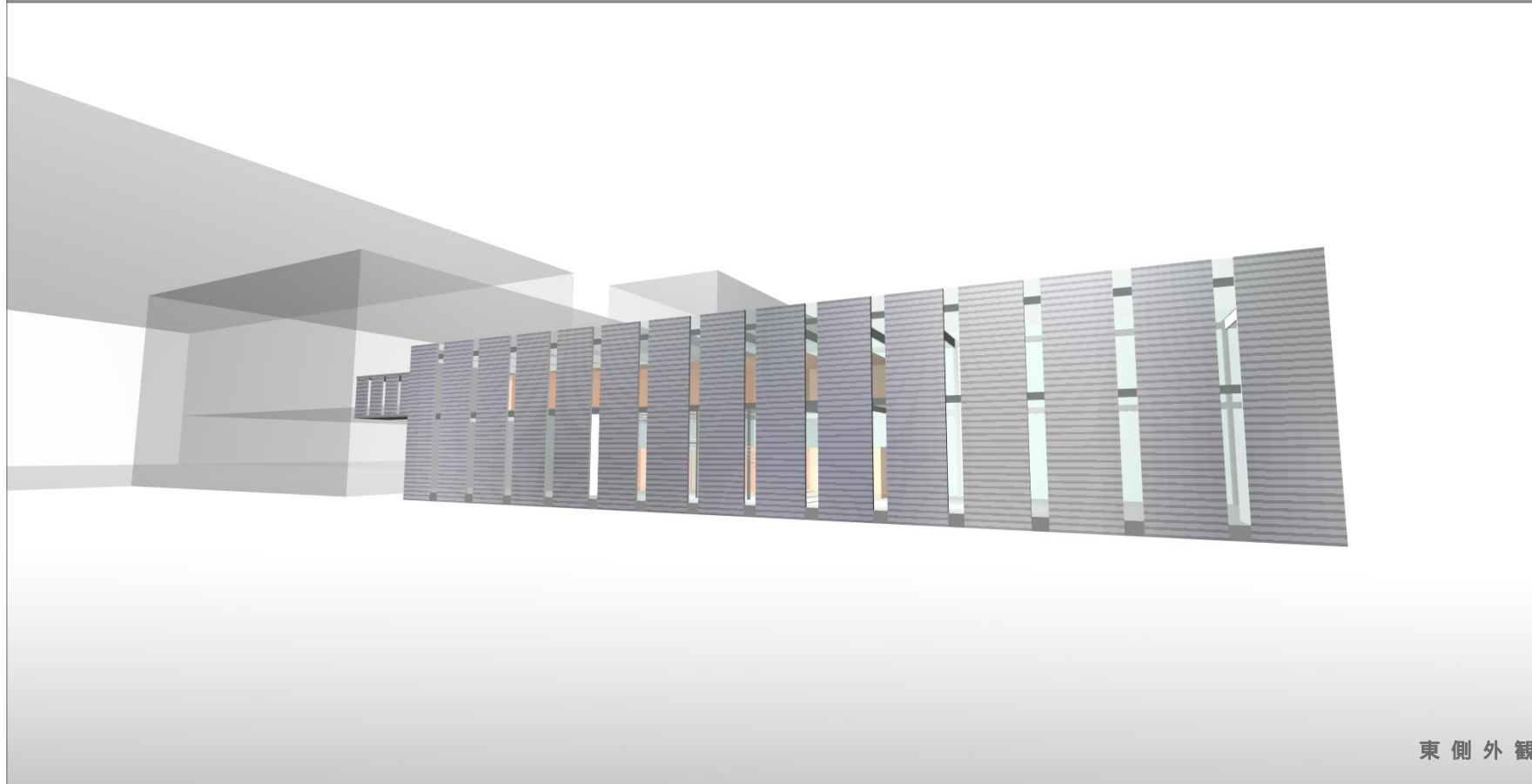
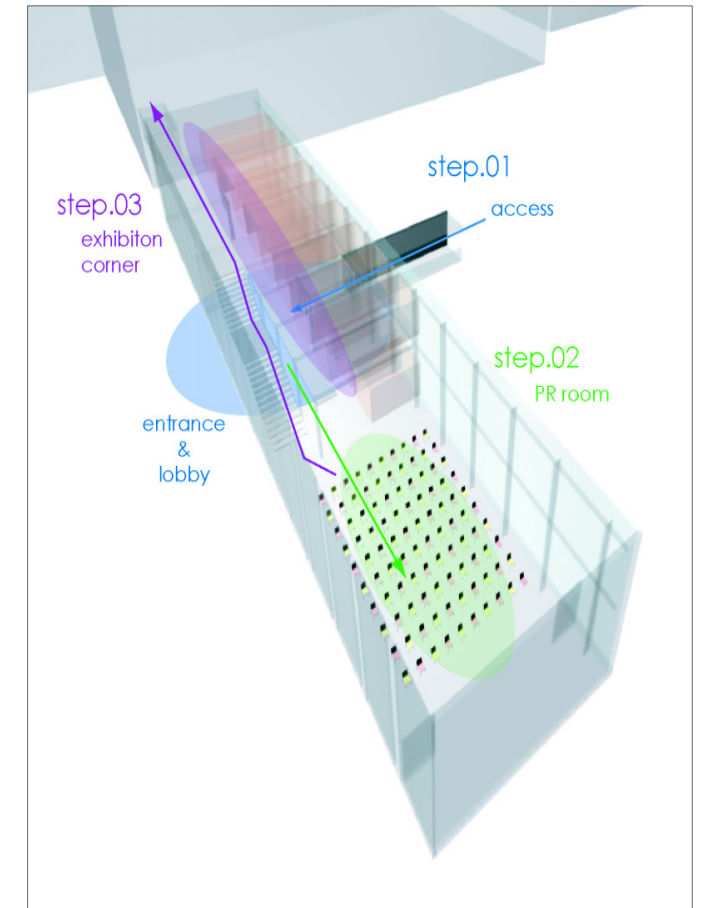
1階平面図



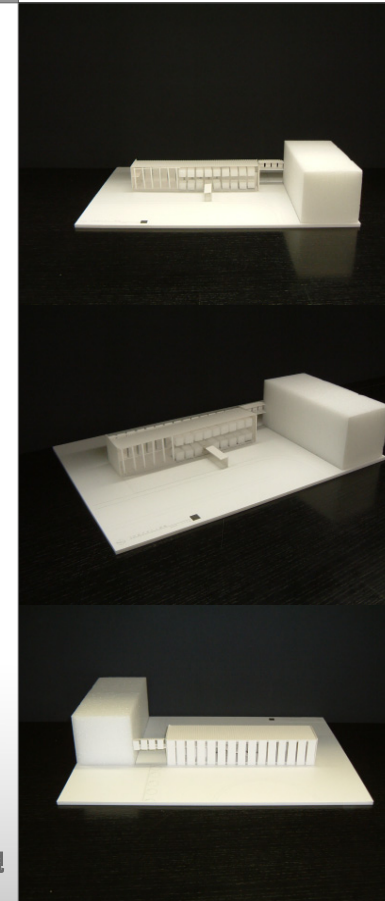
20ft container / 20 x 8 x 8'9"  
(6058mm x 2438mm x 2590mm)  
12ft container / 12 x 8 x 8'9"  
(3658mm x 2438mm x 2590mm)



西側外観



東側外観



模型写真

建築の主動線は施設のメインアプローチに並んで配置され明快な内部構成によって工場内への接続をスムーズにします。

step.01

・主動線・車寄からのアクセス  
エントランスホール兼ロビーへ出る

step.02

・ロビーからPRルームへ出る  
説明及びデモンストレーション

step.03

・上階へ上がり、展示ブースを経て  
工場棟への連絡ブリッジへ